

刈谷田川利活用検討委員会通信 vol.6

～市民、新潟県、長岡市、見附市が協働して、刈谷田川ショートカット部の利用構想を検討しています～

編集・発行／新潟県長岡地域振興局(地域整備部計画調整課) 発行日／平成22年2月26日

第6回刈谷田川利活用検討委員会の概要

“今までの総括をして、整備構想を完成させよう”

平成22年1月13日(水) 18:30～ 見附市今町公民館

第5回検討委員会までの結果を整理してみると、ある程度、意見や提案は出尽くしたように思います。また、ゾーニング計画の大きな変更もありませんでした。そこで、第6回検討委員会では、今までの結果を暫定版の成果報告書としてまとめ、グループ分けをせずに、委員の皆さん全員でつつ丁寧に確認しながら、内容の合意を図りました。後半の時間では、課題として残っている維持管理についての検討を行いました。



■プログラムと参加者 ……………

◆第6回利活用検討委員会のプログラム:①開会のあいさつ/②ゾーニング計画(整備構想図)の最終確認/
③成果報告書の検討(報告書の構成・内容、各ゾーンの整備内容と維持管理など)/④その他(今後の予定)

◆参加者:市民委員12名(長岡市5名・見附市7名)/新潟県長岡地域振興局4名、長岡市2名、見附市2名
NPO法人地域交流センター(事務局)2名/新潟日報(取材)1名 ※取材の様子は平成22年1月15日の記事で紹介しています

検討委員会の結果レポート

ゾーニング計画 (各ゾーンの内容含め)



建物と駐車場のゾーン

【駐車場へのアクセス道路】現段階では緊急時のみ車を通し、平常時は人や自転車を通すイメージとする。/位置はおおよその設定としている。

【メイン駐車場】消雪パイプの整備や除雪についても今後も検討してほしい。

多目的広場のゾーン

【今町から中之島大橋までの歩道】川沿いの歩道は約1.5m(現在)→3.5mに拡幅された。公園側にはないが整備する場合は園内がよいのではないかと。/公園側に整備したほうが良いが、臨時駐車場として使う場合は邪魔になる。/ちょうど敷地の排水路が道路沿いになるため、臨時駐車場などの条件や高さ関係などをクリアにして検討したい。

【臨時駐車場の整備の仕方】アスファルト等を敷くなど整備の仕方を考慮すべき。/メイン駐車場の入り口から入る方法もあるが、車が広場を横断すると芝が痛む(芝生を張るエリアによる)。/臨時駐車場になるところのみ、ウッドチップを敷くなどの対応はできないだろうか。

【公園と道路の境界】整備は未定だが、フェンスなどで固定すると臨時駐車場として使えない。/子供がボール遊びなどで飛び出さないか心配されるので、何らかのかたちで境界に安全対策が必要となる。

【小規模駐車場】駐車場の細かい位置や進入路は設計段階で検討したい。

川沿いのゾーン

【水辺の安全】魚釣りが出来ると良いが安全性をどう確保するか。⇒整備上の安全対策は難しいので川遊びは自己責任であろう。／階段はあくまでも水防活動を行うために整備している。

森と散策のゾーン

【植栽】新潟県として宝くじ基金に 100 本申し込んだ(高さ約 2.5 m)ので、選定されれば、有志の方を募って植樹したい(11 月くらい)。

三角のゾーン

【トイレ】図面には表記していないが要検討事項として位置づけたい。

全体共通の内容

【道路の消雪パイプ】災害復旧に関連する事業メニューにはないが、今後何らかの事業で検討してほしい。

【整備範囲の確認】1億円という予算内では、全面芝にすると植栽はかなり限定される。予備設計で概算整備費がわかるので、皆さんの意見を聞きながら優先順位を決めたい。

【整備の優先順位】優先順位は施工の段取りなども含めて市民と行政と一緒に話し合いたい。

【外灯】設置の位置は、駐車場、散策路やトイレなど必要な箇所に設置してほしい。

【駐車場とトイレ】トイレと駐車場があれば観光バスが停まるので最優先したい。／駐車場については、段階的な施工になるよう考えたい。／いずれトイレを設置する予定であれば下水道を整備して、排水できるような仮設トイレを設置してもらいたい。

【凧合戦の臨時駐車場】今年の 6 月には間に合わないだろう。部分的に鉄板を敷いて対応できるが一般の方の利用には危険である。／道路を通行止めにして駐車場にするのはどうだろうか。⇒バスの行き来ができないので地域の交通を妨げる。／片側の車線だけを通行止めにして、出入り口をコントロールすれば可能性ではないか。／川沿いのゾーンを利用する方法もある。⇒逆に凧合戦の観戦場所にも適している。

維持管理・利活用について (今後の検討方法も含め)



【今後の検討方法について】検討会が終わって長岡市と見附市が別々に検討したら違う計画になるのでゾーニング計画は変更しないでほしい。／維持管理を含めて別の集まりを考え、検討委員も含めて市民に呼びかけたい。／両地区の市民と一緒に話し合っていく必要がある。(そのような委員会ができれば、ぜひ参加したい)／世代問わずまとめて検討する必要がある。

【地域から盛り上げていこう】自分勝手な意見ではなく、様々な人の考え方を考慮しなければならない。自分たちの町のために頭と体を使っていけるかということが今後の課題。／中之島の人たちは川の向こうの公園のことなので盛り上がりがない。このままだと「中之島は関係ない」という雰囲気になってしまう。今後両市でやっていけるよう盛り上げていく必要がある。

【桜の里親から組織へ】宝くじ基金の桜 100 本で里親を募集すると、100 人の市民が参加することになる。そういう形で組織をつくってもよいのではないか。

【管理運営組織の立ち上げ】長岡市と見附市の地籍になっている敷地なので、両市で運営組織を立ち上げる必要がある。／管理はボランティアというが実際はそんなに甘くないので、組織をちゃんとつくる必要がある。／両市が一体となった維持管理は現実的には難しい。両市行政が完成までの間に事務的な役割をしながら組織を作り上げていくという方法しかない。／県と両市とで管理協定を結ぶことになるので、県も関わっていかなければならない。

【建物の維持管理】建物は凧以外のことも詰めた維持管理を考える必要がある。それぞれの活動や維持管理に関わる人がグループを組んで検討する必要がある。／凧の期間は他の人が使えないということでは不公平。凧協会が中心になって運営できたら理想。／キーテナントが必要なので、農協の参加の可能性をもう少しはっきりさせたほうがいい。



【商店街への波及効果】商店街が裏通りになるという危機感がある。それぞれの店のPRができる場にして、商店街にお客を呼び込みたい。両市の協力体制で話し合いができるようにしたい。(商店にとって死活問題なのでお手伝いしたい) / 今町の商店街が袋小路になってしまうことが一番心配なので、公園から今町へ下りる道を確保して欲しい。商店街の意見は一致している。商店街の活性化につながる場所にしていきたい。

【合同のイベント開催を】 凧合戦の6月以外も毎月一回、今町と中之島とで何かのイベントをすれば人も来るはず。 / 何かしらのイベントをすると、商店街で普段買い物をしていない人も立ち寄ってくれるはず。そこへ来た方が活動にも参加してくれたり、自らイベントを主催するようになってもらいたい。



**最終のゾーニング計画
(刈谷田川防災公園整備構想)**

検討委員会の当日資料として用意した以下の図面を最終のゾーニング計画として合意しました。図面に反映されていない意見や提案については、検討委員会の成果報告書の中にまとめています。



| | |
|-----------------------------|---|
| <p>建物と駐車場のゾーン</p> | <p>建物は凧揚げの風の向きを考慮して、敷地の北側にまとめて整備する。建物は古くからこの地域の伝統行事として根付いている「大凧合戦」の発展や凧をテーマとした地域活性化の拠点として、また人やモノの交流の場として、多目的な利用ができる施設とする。駐車場は、「大凧合戦」開催時や観光バスの受入れを想定した規模とする。</p> |
| <p>多目的広場のゾーン</p> | <p>可能な限り広い空間を確保した芝生(もしくはクローバー等)広場を敷地の中央に整備する。</p> |
| <p>プレイゾーン</p> | <p>多目的広場のゾーンと隣接するかたちでバーベキュー広場と子どもの遊び場(遊具や砂場等)を整備する。また、このゾーンの付近にも小規模の駐車場とトイレを整備する。</p> |
| <p>森と散策のゾーン</p> | <p>敷地の東側全域はこんもりとした築山として、桜やモミジ、コナラ、クヌギなどの多品種の雑木、その他実のなる木々を植えた森をつくり、その中を通る散策路を整備する。</p> |
| <p>川沿い(防災祈念)のゾーン</p> | <p>このゾーン一帯を防災祈念公園として位置づけ、北側もしくは南側の端にモニュメントを設置する。また、今後の多目的利用を考慮し、当面は芝生広場として整備する。(高い木は不要)</p> |
| <p>三角(多目的広場)のゾーン</p> | <p>グラウンドゴルフなどができる多目的広場として、一定規模の芝生広場と散策路、小規模の駐車場を整備する。また、小規模駐車場の付近に水防倉庫(上新田地区)を移設する。</p> |

| | |
|------------------|--|
| 全体共通 | <ul style="list-style-type: none"> ▼両地区の市民が参加する組織を立ち上げて検討・運営を行いたい。(ボランティアだけでは維持できない) ▼各ゾーンのテーマごとに有志市民を募り、ワーキンググループによる検討体制をつくりたい。 ▼両市が協力して定期的にイベントを開催するとともに、いざという時のために、合同の防災訓練を行いたい。 |
| メイン駐車場 | <ul style="list-style-type: none"> ▼日頃から、観光バスに立ち寄ってもらうような魅力的な場所にしたい。 ▼市民や来訪者のにぎわい空間を目指して、軽トラ市やフリーマーケット、青空交流市などを開催したい。 ▼大風合戦などのイベント開催時に駐車場もしくは観戦場所としての利用も考えられる。 |
| 建物 | <ul style="list-style-type: none"> ▼多目的空間は大風合戦の凧製作の場として利用するが、残りの約9ヶ月間は多様な利用方法を検討したい。 ▼この建物の利用価値が高いと思われる凧協会に、運営の大半を任せるとも一案である。 ▼凧揚げだけに限定せず、ミニ凧や凧提灯などのものづくり体験、住民の手づくり工芸や昔ながらのお手玉遊びなどを伝承する拠点としての利用も検討する。 ▼建物の維持費に応じて経済効果をもたらす事業主体の参画が必要。(農協などはそのキーテナントになる) ▼災害時の救援物資を受け入れる一次的な拠点として機能させ、広域的な中継拠点としての役割を期待したい。 ▼市民の安心安全のため、備蓄基地としての利用を検討したい。 |
| プレイゾーン | <ul style="list-style-type: none"> ▼日常的に市民が利用するためには、子どもが安心して遊べる場として整備する必要がある。 ▼幼児だけではなく、小学生の児童が遊べる遊具を設置すると親などの大人が集まる場所になる。 ▼バーベキュー広場を利用して、炊き出しイベントなどを行うと市民の防災力を高めることになる。 |
| 多目的広場のゾーン | <ul style="list-style-type: none"> ▼様々なイベントを開催したい。 ▼来訪者(観光者)向けの集客イベントとしての利用をすすめる一方、日常的には地元市民の憩い、遊び、健康づくりなどができる場所としたい。 ▼県道(長岡中之島見附線)沿いの部分は、イベント時の臨時駐車場として利用したい。 ▼芝の管理については、小学校の行事として親子で芝刈りをするなどの方法が考えられる。 ▼ヤギに草を食べてもらう芝の管理方法もあり、ヤギのふれあい公園にもなる。 ▼(ヤギ)普段の飼育は小学校や保育園に頼めない力を相談したい。 |
| 森と散策のゾーン | <ul style="list-style-type: none"> ▼「市民で育てる森」をコンセプトに、基金やボランティアを募って市民参加で植樹を行いたい。 ▼森や自然が好きなおとな同士で森を育てる市民の会をつくり、中心となって維持管理を行うことを検討する。 ▼最初から多くの木を植えずに、徐々に時間をかけて増やしていくようにしたい。 ▼桜の木は、宝くじ基金などの助成金を活用して、木の里親制度をつくりたい。 ▼花やガーデニングが好きなおとなを募集して、花壇を楽しんでもらう。また、講師を招いて教室を開催したい。 |
| 川沿いのゾーン | <ul style="list-style-type: none"> ▼イベント時などは多目的広場のゾーンと一体的な利用ができるようにしたい。 ▼大風合戦の開催時には、観覧席もしくは臨時駐車場として利用したい。 |
| 三角のゾーン | <ul style="list-style-type: none"> ▼日常的な管理は、グラウンドゴルフをする人たちが中心になってもらいたい。 |
| 進入路(住宅側) | <ul style="list-style-type: none"> ▼駐車場から今町を周遊できるように誘導したい。 |
| 県道の歩道 | <ul style="list-style-type: none"> ▼(長岡中之島見附線)イベント時に片側を通行止めにして道路を臨時駐車場として利用することを検討。 |



総括と今後の予定

全6回の検討委員会を経て、当初の目標に近い成果を得ることができました。これもひとえに、委員の皆さんをはじめ、地域の関係者の方々のご協力があったことだと思います。第6回の検討委員会では、維持管理を含めて、今後、より具体的な計画を中之島と今町が一緒になって検討することで意見が一致しました。また、凧会館(仮称)は、凧の製作や展示などに限らず、それ以外の多目的な利用や経済効果をもたらす活動を組み込むことが重要であることの再確認もできました。

最終的には、検討委員の皆さんから長岡地域振興局の地域整備部長に成果報告をしていただき、これを受けて、地域整備部長が長岡市、見附市の両市長に報告します。検討委員会は今回で終わりですが、違うかたちで両地区の市民参加による組織(会)をつくって、ワークショップを重ねていく予定です。今後も、市民、県と市の行政が力を合わせていきたいと思っておりますので、地域の皆様の一層のご理解とご協力を宜しくお願いします。

本件のついてのお問合せ先



新潟県長岡地域振興局(地域整備部計画調整課)

〒940-8567 新潟県長岡市四郎丸町 173 番地 2 TEL:0258-38-2614 FAX:0258-38-2627